AZ-303 Exam#06

# Q.1

ケーススタディ-

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングを合わせていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。この試験に含まれるすべての質問を指定された時間内に確実に完了することができるように、時間を管理する必要があります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには-

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

-Contoso、Ltd。は、世界中にオフィスを持つ製造会社です。Contosoはパートナー組織と協力して、製品を市場に投入します。

Contoso製品は、会社が作成および保守している設計図ファイルを使用して製造されています。

既存の環境-

現在、Contosoは、次のような複数の種類のサーバーをビジネス運用に使用しています。

ファイルサーバー

ドメインコントローラー

Microsoft SQL Serverサーバー

ネットワークには、contoso.comという名前のActiveDirectoryフォレストが含まれています。すべてのサーバーとクライアントコンピューターがActiveDirectoryに参加しています。

App1という名前の公開アプリケーションがあります。App1は、次の3つの層で構成されてい

ます。SQLデータベース

Webフロントエンド

処理中間層

各層は、5台の仮想マシンで構成されています。ユーザーは、HTTPSのみを使用してWebフロントエンドにアクセスします。

要件-

計画された変更

-Contosoは、インフラストラクチャに次の変更を実装することを計画しています。App1のすべての層をAzureに移動します。

既存の製品ブループリントファイルをAzureBlobストレージに移動します。

今後のMicrosoft365移行プロジェクトをサポートするハイブリッドディレクトリを作成します。

技術要件

-Contosoは、次の技術要件を満たしている必要があります。App1の

すべての仮想マシンをAzureに移動します。

App1層の間で開いているポートの数を最小限に抑えます。

App1のすべての仮想マシンがバックアップによって保護されていることを確認してください。

ブループリントファイルをインターネット経由でAzureにコピーします。

ブループリントファイルがアーカイブストレージ層に保存されていることを確認します。

ブループリントファイルへのパートナーアクセスが安全で一時的なものであることを確認してください。

ユーザーパスワードまたはパスワードのハッシュがAzureに保存されないようにします。

仮想マシンのハードディスクには、管理されていない標準ストレージを使用します。

ユーザーがデバイスをAzureActive Directory（Azure AD）に参加するときに、ユーザーが携帯電話を使用してIDを確認するようにします。

可能な限り、管理作業を最小限に抑えます。

ユーザー要件

-Contosoは、ユーザーに関する次の要件を識別します。Pilot

という名前のグループの一部であるユーザーのみがデバイスをAzureADに参加できるようにします。

Admin1という名前の新しいユーザーをAzureサブスクリプションのサービス管理者として指定します。

Admin1は、サービスの停止に関する電子メールアラートを受信する必要があります。

User3という名前の新しいユーザーがAzureサブスクリプションのネットワークオブジェクトを作成できることを確認します。

質問

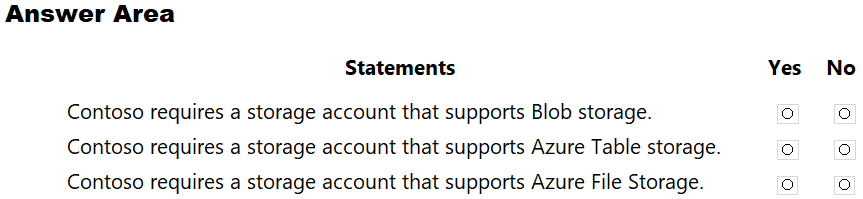
HOTSPOT-

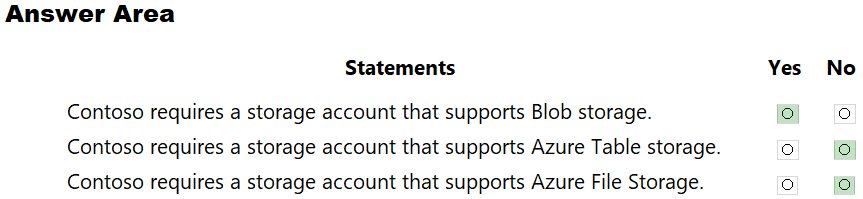
Contosoのストレージ要件を特定する必要があります。

次の各ステートメントについて、ステートメントがtrueの場合は、[はい]を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。

注：正しい選択はそれぞれ1ポイントの価値があります。

ホットエリア：



正解： 

ボックス1：はい-

シナリオ：既存の製品ブループリントファイルをAzureBlobストレージに移動します。

シナリオ：仮想マシンのハードディスクに管理されていない標準ストレージを使用します。

ページBLOBは、BLOB内のランダムな場所での書き込み用に最適化されています。また、アンマネージドディスクもサポートしています。

シナリオ：

MicrosoftAzureのSQLServerデータファイルは、BLOBとして格納されたSQLServerデータベースファイルのネイティブサポートを有効にします。これにより、オンプレミスまたはMicrosoft Azureの仮想マシンで実行されているSQLServerで、Microsoft AzureBlobストレージ内のデータ専用のストレージ場所を使用してデータベースを作成できます。

ボックス2：いいえ-

ボックス3：いいえ-

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/relational-databases/databases/sql-server-data-files-in-microsoft-azure>

# Q.2

ケーススタディ-

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングを合わせていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。この試験に含まれるすべての質問を指定された時間内に確実に完了することができるように、時間を管理する必要があります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには-

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

-Contoso、Ltd。は、世界中にオフィスを持つ製造会社です。Contosoはパートナー組織と協力して、製品を市場に投入します。

Contoso製品は、会社が作成および保守している設計図ファイルを使用して製造されています。

既存の環境-

現在、Contosoは、次のような複数の種類のサーバーをビジネス運用に使用しています。

ファイルサーバー

ドメインコントローラー

Microsoft SQL Serverサーバー

ネットワークには、contoso.comという名前のActiveDirectoryフォレストが含まれています。すべてのサーバーとクライアントコンピューターがActiveDirectoryに参加しています。

App1という名前の公開アプリケーションがあります。App1は、次の3つの層で構成されてい

ます。SQLデータベース

Webフロントエンド

処理中間層

各層は、5台の仮想マシンで構成されています。ユーザーは、HTTPSのみを使用してWebフロントエンドにアクセスします。

要件-

計画された変更

-Contosoは、インフラストラクチャに次の変更を実装することを計画しています。App1の

すべての層をAzureに移動します。

既存の製品ブループリントファイルをAzureBlobストレージに移動します。

今後のMicrosoft365移行プロジェクトをサポートするハイブリッドディレクトリを作成します。

技術要件

-Contosoは、次の技術要件を満たしている必要があります。App1の

すべての仮想マシンをAzureに移動します。

App1層の間で開いているポートの数を最小限に抑えます。

App1のすべての仮想マシンがバックアップによって保護されていることを確認してください。

ブループリントファイルをインターネット経由でAzureにコピーします。

ブループリントファイルがアーカイブストレージ層に保存されていることを確認します。

ブループリントファイルへのパートナーアクセスが安全で一時的なものであることを確認してください。

ユーザーパスワードまたはパスワードのハッシュがAzureに保存されないようにします。

仮想マシンのハードディスクには、管理されていない標準ストレージを使用します。

ユーザーがデバイスをAzureActive Directory（Azure AD）に参加するときに、ユーザーが携帯電話を使用してIDを確認するようにします。

可能な限り、管理作業を最小限に抑えます。

ユーザー要件

-Contosoは、ユーザーに関する次の要件を識別します。Pilot

という名前のグループの一部であるユーザーのみがデバイスをAzureADに参加できるようにします。

Admin1という名前の新しいユーザーをAzureサブスクリプションのサービス管理者として指定します。

Admin1は、サービスの停止に関する電子メールアラートを受信する必要があります。

User3という名前の新しいユーザーがAzureサブスクリプションのネットワークオブジェクトを作成できることを確認します。

質問

ブループリントファイルをAzureに移動する必要があります。

あなたは何をするべきか？

1. Azure Import / Exportサービスを使用します。
2. 共有アクセス署名（SAS）を生成します。ドライブをマップしてから、ファイルエクスプローラーを使用してファイルをコピーします。
3. Azure StorageExplorerを使用してファイルをコピーします。
4. アクセスキーを生成します。ドライブをマップしてから、ファイルエクスプローラーを使用してファイルをコピーします。

正解： *D*

シナリオ：ブループリントファイルをインターネット経由でAzureにコピーします。

Azureファイル共有をマウントするには、プライマリ（またはセカンダリ）ストレージキーが必要です。SASキーは、現在マウントがサポートされていません。

不正解：

A：Azure Import / Exportサービスは、ディスクドライブをAzureデータセンターに出荷することにより、大量のデータをAzureBlobストレージとAzureファイルに安全にインポートするために使用されます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/storage/files/storage-how-to-use-files-windows>

私は、**C**　でいいと思う

# Q.3

ケーススタディ-

これはケーススタディです。ケーススタディは個別にタイミングを合わせていません。各ケースを完了するのに必要なだけの試験時間を使用できます。ただし、この試験には追加のケーススタディとセクションがある場合があります。この試験に含まれるすべての質問を指定された時間内に確実に完了することができるように、時間を管理する必要があります。

ケーススタディに含まれている質問に答えるには、ケーススタディで提供されている情報を参照する必要があります。ケーススタディには、ケーススタディで説明されているシナリオに関する詳細情報を提供する展示やその他のリソースが含まれている場合があります。このケーススタディでは、各質問は他の質問から独立しています。

このケーススタディの最後に、レビュー画面が表示されます。この画面では、試験の次のセクションに進む前に、回答を確認して変更を加えることができます。新しいセクションを開始した後は、このセクションに戻ることはできません。

ケーススタディを開始するには-

このケーススタディの最初の質問を表示するには、[次へ]ボタンをクリックします。質問に答える前に、左側のペインのボタンを使用して、ケーススタディの内容を調べてください。これらのボタンをクリックすると、ビジネス要件、既存の環境、問題の説明などの情報が表示されます。ケーススタディに[すべての情報]タブがある場合、表示される情報は後続のタブに表示される情報と同じであることに注意してください。質問に答える準備ができたら、[質問]ボタンをクリックして質問に戻ります。

概要

-Contoso、Ltd。は、世界中にオフィスを持つ製造会社です。Contosoはパートナー組織と協力して、製品を市場に投入します。

Contoso製品は、会社が作成および保守している設計図ファイルを使用して製造されています。

既存の環境-

現在、Contosoは、次のような複数の種類のサーバーをビジネス運用に使用しています。

ファイルサーバー

ドメインコントローラー

Microsoft SQL Serverサーバー

ネットワークには、contoso.comという名前のActiveDirectoryフォレストが含まれています。すべてのサーバーとクライアントコンピューターがActiveDirectoryに参加しています。

App1という名前の公開アプリケーションがあります。App1は、次の3つの層で構成されてい

ます。SQLデータベース

Webフロントエンド

処理中間層

各層は、5台の仮想マシンで構成されています。ユーザーは、HTTPSのみを使用してWebフロントエンドにアクセスします。

要件-

計画された変更

-Contosoは、インフラストラクチャに次の変更を実装することを計画しています。App1の

すべての層をAzureに移動します。

既存の製品ブループリントファイルをAzureBlobストレージに移動します。

今後のMicrosoft365移行プロジェクトをサポートするハイブリッドディレクトリを作成します。

技術要件

-Contosoは、次の技術要件を満たしている必要があります。App1の

すべての仮想マシンをAzureに移動します。

App1層の間で開いているポートの数を最小限に抑えます。

App1のすべての仮想マシンがバックアップによって保護されていることを確認してください。

ブループリントファイルをインターネット経由でAzureにコピーします。

ブループリントファイルがアーカイブストレージ層に保存されていることを確認します。

ブループリントファイルへのパートナーアクセスが安全で一時的なものであることを確認してください。

ユーザーパスワードまたはパスワードのハッシュがAzureに保存されないようにします。

仮想マシンのハードディスクには、管理されていない標準ストレージを使用します。

ユーザーがデバイスをAzureActive Directory（Azure AD）に参加するときに、ユーザーが携帯電話を使用してIDを確認するようにします。

可能な限り、管理作業を最小限に抑えます。

ユーザー要件

-Contosoは、ユーザーに関する次の要件を識別します。Pilot

という名前のグループの一部であるユーザーのみがデバイスをAzureADに参加できるようにします。

Admin1という名前の新しいユーザーをAzureサブスクリプションのサービス管理者として指定します。

Admin1は、サービスの停止に関する電子メールアラートを受信する必要があります。

User3という名前の新しいユーザーがAzureサブスクリプションのネットワークオブジェクトを作成できることを確認します。

質問

アプリケーションを移動した後、App1のバックアップソリューションを実装する必要があります。

最初に何を作成する必要がありますか？

1. Azureのバックアップサーバ
2. リカバリサービスボールト
3. 復旧計画
4. バックアップポリシー

正解： *B*

シナリオ：App1のすべての仮想マシンがバックアップによって保護されていることを確認します。

いくつかの方法を使用して

AzureVMをバックアップできます。✑単一のAzureVM：VM設定から直接AzureVMをバックアップできます。

✑複数のAzureVM：Recovery Servicesボールトをセットアップし、複数のAzureVMのバックアップを構成できます。

参照：

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/backup/backup-azure-vms-first-look-arm>

管理およびセキュリティソリューションの実装